

平成28年9月10日

愛知県上海産業情報センター  
余語 克昭

## 上海エコ事情 ～mobikeサービス体験～

中国というと、大気汚染に始まり、様々な環境汚染のイメージを抱く方も多いのではないのでしょうか？ 今回は、前回に続き、中国・上海における乗り物のエコ事情についてレポートいたします。

### エコでおしゃれな移動手段「mobike」登場！

ここ数ヶ月、銀色とオレンジ色のおしゃれで近未来的なデザインの自転車にまたがって上海の街を颯爽と駆け抜ける人々を良く見かけるようになりました。上海でサービスが始まった、エコでおしゃれな移動手段「mobike」です。



mobike

「mobike」はスマートフォンのアプリを使って借りるシェアサイクルで、配車サービスUberの中国事業を担当されていた元幹部が立ち上げた企業が運営しています。現在は、上海市内の外環内でサービスを利用することができます。日本でも、大気汚染や市外地の渋滞緩和策として期待されるシェアサイクルですが、中国・上海ではどのような形で展開されているのでしょうか？

今回は、「mobike」について、ご紹介します。

## 「mobike」体験記

使用方法は、スマートフォンにアプリをダウンロードし、携帯番号の入力とともに、外国人の場合はパスポートの写真ページを撮影したもの及び写真ページと本人の顔を一緒に撮影したものの2枚の写真をアプリ上でアップロードします。入力した携帯にSMSで送られてくる暗証番号を入力して利用登録申請をすれば、三十分程度で登録が完了し、使用が可能になります。（登録時に、299元のデポジットが必要となります）

アプリでは、GPSで地図上に自分の現在位置が表示され、近隣に存在する現在使用可能な空き車両が表示されます。利用したい車両を選択して予約すれば、予約から15分間は確保できますので、その間にアプリの誘導に従って自分の予約した車両を見つけます。

（たどり着いたところに複数のmobikeが駐輪されていて自分の予約した車両がどれか分からない場合は、アプリから自分が予約した車両のベルを鳴らして特定することもできます。）

自分のmobikeにたどり着いたら、ハンドルかサドル下のロック部分に付いているQRコードをアプリで読み取ると、ロックが解除されて利用が可能になります。



サドル下のQRコード

利用料金は開錠から30分毎に1元（現在のレートで約15～16円ほど）、モバイル決済サービスの「支付宝（Alipay）」か「微信支付」で支払います。

上海市内には、従来から公共のレンタルサイクルがありましたが、利用には運用機関である役所での申請手続きが必要で、基本的に外国人居住者や非居住者は利用ができなく、また、下の写真のような指定場所に駐輪してある自転車を借り、使用後は指定場所へ駐輪し、そこから目的地までは歩いて行く必要がありました。



従来の公共レンタル自転車

これに対して、mobikeの画期的な利点としては、固定の返却場所はなく、街中の公共自転車駐輪スペース（歩道上で、白線で仕切られているスペース）に自由に乗り捨てることのできる点です。通勤や取引先に向かう途上、アプリで自分の位置または乗車希望位置近辺の空き車両を見つけて予約し、利用後は、目的地の目の前の歩道上の公共駐輪スペースへ乗り捨てできます。歩いていくには少し遠いもののタクシーに乗ることを憚られるような近場への利用にも非常に便利です。

また、mobikeの車体には、デザイン性もさることながら、この国の特性をよくよく考え抜いたと思わせる工夫が各所に見受けられます。

例えば、中国においては、道路や歩道に陥没箇所や段差が多く、普通のタイヤではパンクも多いことと思います。せつかく設置した車両がすぐにパンクしては稼働が悪く利用にも支障がありますが、mobikeにはノーパンクタイヤが装備されています。また、同じ理由からか、切れる可能性のあるチェーンではなく、シャフトドライブを採用しています。

盗難防止の観点からも、これらの構造は非常に有効と思われます。中国では

自転車の盗難と同時にサドルの盗難も多いそうですが、mobikeはサドルの上下稼動という快適機能をなくして完全にサドルが固定されており、取り外しができなくなっています。ベルも、ハンドルグリップに内蔵されています。

他にも、一般の自転車部品を利用していけば分解して切り売りされる恐れもありますが、ホイールもフォークもmobike専用のデザインで、車輪は前後とも片持ちになっており、他で流用ができないような造りになっています。



独自のフロントフォークとホイール

このように、格好の良い未来的なデザインも、使用して見ると納得の中国仕様になっている点が、個人的には非常に面白く映りました。

また、以上のように構造上の観点から、盗難防止、破損防止の様々な工夫が凝らされたmobikeですが、更なる運営上の工夫として、新規登録時に付与される「信用ポイント」（新規登録時に100ポイント付与される）から、規律違反毎に20ポイント～50ポイントを減点し、逆に、これらの規律違反や故障車両を発見しアプリで報告すると、報告者にポイントが加算されるという仕組みとなっています。

例えば、公道の歩道上の駐輪スペースではなく、自分のマンションの敷地内に持ち込んで駐輪するような私物化行為は、他のユーザーに見つかり報告されれば、違反者の信用ポイントが減点され、一定程度以上のポイントを失えば、利用料金が高くなるペナルティが課せられるという、相互監視によるシステム維持の仕組みが構築されています。このあたりも、やはり中国仕様というところでしょうか。

実際に乗車した感想としては、上述した丈夫さの代償か、もしくは単純に盗難防止の意味もあるのか、車重が約25kgと重いことと、シャフトドライブ独特の漕ぎ感から、漕ぎ出す際には「ジムにあるエアロバイクを重めにして漕いでいる感じ」という感想を抱きました。

しかし、上海には坂がほとんどないため、走り始めれば女性でも楽に漕ぐことができます。この街の特性に合った、非常に合理的かつ実用的な乗り物であるという印象を受けました。

また、中国の第13次五カ年計画（2016年～2020年）において、戦略的新興産業として示された省エネ・環境保護、次世代情報技術（インターネットプラス）の身近な活用事例でもあり、この国の目指す方向性にも合致したサービスであると思います。

今年の夏は長く猛暑日が続いた上海ですが、9月に入り、ようやく秋めいて風が心地よくなってきました。皆様も、上海へご出張の折、また観光にいらっしやっした際には、ぜひアプリをダウンロードして、エコにも健康にも良いmobikeに乗り、プラタナスの並木道が美しい上海の街を駆け抜けてみてはいかがでしょうか？

（注）mobikeの利用に関する諸条件は記載の他にもあり、変更の可能性もあります。ご利用の際は必ずアプリに表示される諸条件をご確認ください。

上海産業情報センターでは、今後も引き続き中国の現地情報について提供していきたいと思っております。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。